

国史跡 御年代古墳

指定 昭和8年 本郷町南方

守り・伝える・文化財 ②③



▲後室の石棺(長さ2.45m、幅1.08m、高さ1.4m)。前室にもほぼ同じ大きさの石棺があります

尾原地区の国道2号を眼下に見下ろす山裾に、御年代古墳は南に向いてぼっかりと口を開けています。横穴式石室で羨道に続き二つの玄室が連なり、両壁と天井は、ほぼ一枚の花崗岩の切石をもって築かれています。それぞれ玄室には大きな花崗岩のくりぬき式家型石棺が納められ、二つの玄室の間の仕切りには扉があったことをうかがわせる加工を見ることが出来ます。7世紀中期、古墳時代の終わり頃の築造と考えられ、随所に高い技術が認められます。

で、思わず「地獄の入り口じゃあー」と叫び声上がり、奥を探索うと物干竿を突っ込んだり、蠟燭を下ろしてみたり、みんな右往左往の大混乱だったそうです。偶然にも現れたのが、古墳の羨道の一部でした。石棺のそばから須恵器や土器がモッコに5〜6杯も出土し、朱が塗られた石棺の中には頭蓋骨や金環・銅環・剣などがありました。見物人は広島・尾道方面からも連日押し寄せ、あつという間に付近に食べ物売店も並んだそうです。115年前の話です。この時、出土した副葬品は現在、東京国立博物館に収蔵されています。

いつでも気持ちよく見学ができるようにと、近所の人が長年、周囲の草刈りをしてきました。感謝しつつ、マナーを守って地域の人に迷惑をかけない見学をしましょう。巨石の運搬技術、計算し尽くされた石組み、くりぬいて造られた優美な石棺など、今でも解明されていない謎が多く、驚くことばかりです。古の人々に想いを馳せながら、私たちはこれらの文化財を大事に守り、次の世代へと継承していきたいものです。

(文/文化財保護審議会委員 森井玲子さん)



森井 玲子さん

問い合わせ先
生涯学習課
(☎0848⑥2137)

男女共同参画講演会

とき 14日(土)13時30分〜15時

ところ 市民福祉会館

演題 男女共同参画でつくる元氣な社会

講師 安田女子大学教授 川瀬啓子さん

定員 150人(先着順)

参加費 無料

問い合わせ先 青少年女性課

(☎0848⑥9234)

市民企画の三原いきいきセミナー

とき 3月1日(日)13時30分〜15時

ところ サン・シープラザ

(4階)

演題 男性も介護の世界へ

講師 民生委員児童委員 末盛征壮さん

定員 70人(先着順)

参加費 無料

問い合わせ先 青少年女性課

(☎0848⑥9234)

税の納期普通徴収

◎国民健康保険税第8期

◎介護保険料(第8期)

◎後期高齢者医療保険料第8期

◎固定資産・都市計画税第4期

納期限 3月2日(月)

今月の夜間収納窓口(19時まで)

12日(木)・26日(木)

あ・と・が・き

立春。厳しい寒さが続く毎日ですが、暦のうえでは春のはじまり。そろそろ梅の花がほころび始める季節ですね。凍てつくような寒さをじつと耐えてつぼみを膨らませ、可愛らしい花を咲かせ、春の訪れを知らせてくれる姿に愛おしさすら感じてしまいます。春はもうすぐそこまで来てるんですね▼三原に春を呼ぶと言われる神明市。今年は、6日〜8日の3日間です。この神明市を盛り上げようと、先月には観光三原だるま展が開催されました。市内の小中高生らが製作した作品約100点が並び、来場者の感心を誘っていました。神明市にも、大小、色とりどりのだるまが所狭しと並びます。皆さんも寒さに負けず、ぜひ神明市に出かけて一足早い春の訪れを楽しんでみてく

ださい。(た)



三原市の人口

(12月31日現在)

世帯数 43,937世帯(+261)

人口 104,134人(-529)

男 50,003人(-258)

女 54,131人(-271)

()内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。

編集・発行/三原市秘書広報課 (〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号 ☎0848⑦6007) 毎月1日発行

「広報みはら」は市役所1階ロビーと各支所、サン・シープラザとうきしろロビーの窓口にも備えています。点字版や録音テープの「広報みはら」も発行しています。

問い合わせは秘書広報課へ。